

高 下関北高校だより

(令和4年10月19日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地
TEL(083)782-0023 FAX(083)782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。
<http://www.shimonosekikita-h.ysh21.jp>

■ 地域探究「観光・産業コース」グループの活動紹介

地域探究の「観光・産業コース」では、7月14日(木)に、角島プリンと手作りジェラート Mamena にお世話になりました。

「観光・産業コース」では、豊北町をPRするという目的で、ポスターや動画等の作成をしています。3年生のひとつのグループが動画を作成するために、撮影とお店の方にお話しを伺いに、角島プリンと Mamena へ行ってきました。

角島プリンのお店の方によると、若い方の力で地域を盛り上げてほしいということでした。過疎化が進み、学生も少なく、アルバイト等人手が足りないことから、若い人がいないことを実感されている様子でした。地域に若い人が増えたらいいなという思いを抱かれています。

Mamena は北高の裏にある人気のジェラート屋さんです。「なぜジェラートを作ったのか？」という、元々、酪農のお仕事をされていたようで、アイスクリームよりも素材の味を大切に作るジェラートを作りたいと思ったからだそうです。使う牛乳も地元の「やまぐちきらら牛乳」を使っているというこだわりがありました。

お店の方には、勉強のためならと、取材に快く引き受けてくださいました。本当にありがとうございました。



■ 全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が開催されました。

令和4年7月26日～28日の3日間、高知県高知市の高知県立県民体育館で、令和4年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が開催されました。

個人戦の80kg級で岩崎駿君、100kg級では下村耶真人君、無差別級では島崎涼君、下村耶真人君が出場しました。本大会での上位入賞を目指し連日の厳しい稽古を乗り越えてきました。強豪がひしめく全国大会ではありましたが、島崎涼君が2勝1敗で予選通過し、決勝トーナメントに勝ち進み大健闘しました。



■ ハロかぼランタン・プロジェクト①

下関北高校では、地域の活性化に向けて、高校生ができる地域貢献活動に積極的に取り組むこととしています。

毎年、豊北町観光協会等と連携して、ハロウィンかぼちゃを活用して、豊北町のPR活動に取り組んでいます。このハロかぼランタン・プロジェクト事業も今年度で5年目を迎えます。

8月5日(金)には、その第一歩として、学校内の畑を活用して、実際にハロウィンかぼちゃの苗作りにチャレンジしました。植え付けた種は、観賞用かぼちゃ「アトランチックジャイアント」を21粒です。本校の卒業生で、下関市豊北町神田上のバラ農家、(有)司ガーデンの中司武敏さんから植え付けの方法についても教えていただき、そのことを思い出しながら種を植えました。

JRC部の生徒は、種まき用の土をポットに入れ、深さ1cmの穴に一晩水につけておいた種を一粒一粒丁寧に植えました。植えたところを軽く手で押さえ水やりをして最初の作業は終了です。“早く芽を出せかぼちゃの種”の思いで、JRC部の生徒は毎朝水やりを行いました。昨年度はナメクジ対策も行い、日々世話をしましたが、天候の関係でかぼちゃの収穫には至りませんでした。「今年こそ！」の思いで、これから収穫に向けて日々お世話をしようと思います。



■ 第61回全日本吹奏楽コンクール山口県大会

7月29日から31日は山口市民会館、8月5日から7日は周南市文化会館を会場として「山口県総合芸術文化祭 2022 第61回全日本吹奏楽コンクール山口県大会」が開催されました。本校吹奏楽部は8月5日(金)、高等学校C部門に3年生7名、2年生4名、1年生2名の計13名で参加し、和田直也さん作曲の「フラワー・クラウン」を演奏しました。コンクール独特の緊張感はありましたが、持てる力を発揮した演奏で、C部門参加4団体中1位の成績で優秀賞を獲得することができ、今年度の大きな目標の一つを達成しました。複数の審査員の先生方から「明るく豊かなサウンド」と御講評いただくなど嬉しい評価が並び、3年生は有終の美を飾ることができました。また、2年生・1年生にはこれからのより良い音楽創りへの自信となります。

日々の練習はもとより、夏休み前からは本校武道場を借りての猛暑下の練習、野球応援・地区演奏会と続いた超強行日程を乗り越え、部員たちは演奏技術だけでなく心身も逞しく成長しました。厳しく苦しい日程の中で、硬式野球部の1回戦勝利は私たちに前に進む力を与えてくれました。

コンクール当日、大雨の中、早朝から遠路はるばる会場においでくださった保護者の皆様、皆様のお気持ち部員の音を引き出しました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。



第61回全日本吹奏楽コンクール山口県大会
山口県立下関北高等学校 (指揮) 安本 幸
(作曲) フラワー・クラウン (編曲) 和田直也

■ 令和4年度学校説明会を開催しました。

8月19日(金)に、令和4年度の学校説明会を開催しました。前日の大雨の影響が心配されましたが、無事天気も回復し、新型コロナウイルス感染症対策を行って開催しました。中学生75名、保護者45名、中学校教員5名の計125名の方に参加していただきました。

体育館で行った全体会では、校長の挨拶の後、3年生の松野健伸さん、山田愛弓さん、2年生の小泉颯輝さん、藤本一嬉さんの4人が、パワーポイントを使用して、本校の教育の特徴や進路学習、部活動の様子、文化祭や野球応援などの学校行事について、文化祭の様子の動画や地域探究の授業で作成した学校紹介動画などを交えながら息の合ったプレゼンテーションを行い、最後に教頭から高校入試について説明をしました。



全体会の後は、数学、社会、理科、家庭、商業の5つのグループに分かれて高校の授業を体験してもらいました。学校案内は地域探究の授業を受講している保育・福祉グループの6名が誘導しました。数学では、「ゲーム制作に使われている高校数学」をテーマに授業を行いました。中学で学ぶ計算、座標の復習、高校で学ぶ虚数と極座標の紹介、さらに先のオイラー角、クォータニオンについてゲームの動画を通して触れてもらうことで数学を学ぶ意味を再定義してもらえたのではないかと思います。社会では高校野球の地方予選から見える日本社会の現状について、理科ではたくさんの泡が発生するオモシロ実験を通して、触媒と化学反応の速度の関係について学習しました。また、家庭では「にんじん」に注目し、食品の購入から離乳食など、さまざまな視点から「食」について考え、商業では、パソコンソフトのExcelの関数機能を使って、表の中の数の合計や平均を求める授業を行いました。

それぞれ30分間の短い授業でしたが、高校の授業のほんの一部に触れてもらうことで、興味や関心を高めてもらえたのではないかと思います。最後に希望者が部活動見学を行い学校説明会は終了しました。

なお、本日の学校説明会に参加できなかった中学生で、下関北高校の様子を知りたい人には個別の説明も可能ですので、遠慮なく学校にお問い合わせください。



■ ハロかぼランタン・プロジェクト②

高校生ができる地域貢献活動の一環として豊北町観光協会等と連携して取り組んでいるハロかぼランタン・プロジェクトの経過報告です。第一歩として8月5日(金)にポットに植えたかぼちゃの種は8月10日(水)頃には元気の良い双葉が育ち、8月18日(木)ごろには本葉が育ちました。JRC部の生徒が思いを込めて毎朝水やりを行った成果が現れています。

第二歩として、8月22日(月)に学校の畑に植え替える作業を行いました。畑には雑草がたくさん生えていたので、除草作業を丁寧に行い、肥料をあげて畑を耕しました。ポットを等間隔に置いて、本葉になったかぼちゃの苗を植えていきました。無事に花を咲かせ実がなるよう毎日お世話をしていこうと思います。



また、今年植えたかぼちゃ畑の隣で、昨年のハロかぼイベントでくり抜いたかぼちゃを鉢に見立てて、パンジーやピオラを植えて畑にならべていたところ、そのかぼちゃからも立派な芽がでて、大きな花が咲いています。実がなるように受粉作業を行いました。8月に植えたかぼちゃとともに大きく育ててくれると期待しています。

■ 生徒会役員認証式・引継式を実施しました。

8月26日(金)に、生徒会役員認証式・引継式を行い、いよいよ新生徒会が始動しました。認証式では、今年度後期の生徒会役員に決まった11名を代表して、生徒会副会長の長野結太さんに校長から任命書が授与されました。そして、校長から旧役員には「コロナ禍の中、気を遣う場面も多く、様々な苦労や困難もあったと思うが、互いに励まし合いながら文化祭等の学校行事を成功に導いてくれた。また学校を自らの手で良くしていこうと奮闘した執行部でした。ご苦労様でした。」とねぎらいの言葉が述べられました。また、新役員には「不安も大きいと思うが、まわりの助けも借りながら、互いに力を合わせてがんばってください。」と激励の言葉が述べられました。

その後の継承式では、旧生徒会役員を代表して松野健伸生徒会長から、新生徒会への期待の言葉と、この1年間の在校生の協力に対する感謝の言葉が述べられ、会場から惜しみない拍手が送られました。これを受け、新生徒会の長野結太生徒会副会長から、全校生徒の皆さんと協力して、学校を盛り上げていくと決意が述べられました。

